

## 14 偏った考えが増幅するSNSの怖さ（インターネット）

（ナレーター）皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、岡澤アキラがお届けします。

5 情報があふれるインターネットは便利な半面、多くの危険性をはらんでいます。そのうちのひとつが、「エコーチェンバー」現象です。閉じられた小さな部屋の中で、音がこだまする様子をなぞらえています。これは、ソーシャルメディアを利用する際に自分が見たいものだけを選ぶことで、似たような考えばかりに囲まれていくことを意味します。

15 人とインターネットの関わりを研究している、福岡女学院大学人間関係学部准教授の藤村まことさんは話します。

20 【藤村さん役】エコーチェンバー現象の怖さは、自分とは異なる意見や考えに触れる機会が減り、自分たちの考えが正しいと思いついてしまふことです。さらに、その偏った意見が集まり増幅していくことで、意見の対立や差別を生み、社会の分断を強めてしまいます。

(ナレーター) ツイッターにこのような投稿がありました。  
「あの地域には外国人がたくさん住んでいる。治安が悪くて近づきたくない」

25 実際、治安が悪いという事実はありません。たまたま外国人の集団を見かけての投稿でしたが、「やっぱりそうか」「教えてくれて助かる」「危ないから避けよう」など、見ず知らずの人たちが同調して、拡散されました。

30 それに驚いた人が「あそこは別に悪い地域じゃないですよ」と反論しても一切耳を傾けず、「お前も外国人だろ」「危ないと言って何が悪い」と一斉に攻撃したのです。  
たたかれた人は深く傷つき、その地域に住む人たちも偏見の目で見られることになりました。

35 【藤村さん役】自分に都合のよい情報ばかりを無意識に集める現象を「確認バイアス」といい、SNS上で異なる意見を排除してしまう原因の一つと考えられます。特にSNSでは気軽にフォロワーしたり外したりして、同じ価値観の人たちだけでつながるエコーチェンバー現象が生じやすいのです。

40 その危険性に陥らないためにはまず、良い意味で情報と自分を疑ってみる事です。有名な人の言葉でも「この情報は本当なのか」「今のこの考えは正しいのか」と、常に問いかけてみましょう。

45 (ナレーター) インターネット上のどんな情報も安易に信じ込まず、物事を多面的にとらえ正しく判断できる力を身につ

けることが大切たいせつです。

(本文931字)